

八幡平観光新聞

五輪イヤー・2020年は重要な1年

新年あけましておめでとうございます
いよいよオリンピックがスタートします。当初は、例年に増して海外からのお客様が増えるとの希望の観測もありましたが、実は選手も五輪連帯関係の方々や飛行機、宿泊施設を押さえるので観光客は逆に減少するとのニュースが流れ、急遽対応策を検討する動きにもなりました。
◆話題は訪日ばかりか？
八幡平DMOとして市内の事業者さん、関係者の皆さんとお話させていただいているところや、インバウンドって騒いでいるけど、①実際のところどうなんだい？②いじゃうち等のご声も多く聴かれます。今年11五輪イヤーは特に訪日外国人の話題

◆観光振興審議会開催
12月18日、観光振興審議会が開催されました。これは観光関連機関や事業者代表の方々にお集まりいただいた「振興計画の進捗状況」を報告、観光の第一線に居られる皆さまからご意見や質問を頂戴する場でも、市長・副市長も出席します。また座長を若大の小野寺教授にお願いし、様々な見解や課題を学識的見地から整理していただき、進められて

が多く語られると思いますので、もう一度、背景や今後の動きに関する想定を、共有しておきたいと思えます。※詳細は8月号に記しましたので興味のある方はご請求下さい。
◆なぜインバウンド？
背景には日本の人口減少、消費を維持する為に、訪日客を短期移民に消費者として位置付ける
*日本人旅行者の代替
社員旅行・報奨旅行等の団体旅行が衰退し、個人旅行とバスツアーに移行しても減少傾向その代替として想定
*地方の衰退に歯止め
観光による地方の創生、雇用創出・商業の活性化の継承・外貨獲得人口の流出を防止する

令和2年
1/01
八幡平DMO
発行人:文責 島海良信

※訪日客は2形態
訪日外国人には大きく2つのタイプがあり、対応がかわってきます。
◆インバウンドその1
先行して日本に入ってきた周遊型のバスツアーで、日本のそれと同じハターンです。



大きくは、2つのタイプに分かれます。
①個人の集りの募集型
最近では滞在型も発生
②企業や団体の貸切型
社員旅行や報奨旅行で消費額も豪快です。双方とも動きは日本の団体客と概ね一緒に、添乗員さんが通訳を兼ねて仕切ります。

◆協賛事項は...
①振興計画の進捗報告
現行の振興計画8つのアクションプランに沿って3年次の取組みと経過報告されました。委員の方から①数値目標の項目や推移について、具体性が必要と。市場の動きをエリア戦略に繋げる為、更に踏み込んだデータを収集活用して行きます。

◆インバウンドその2
FIT個人旅行で
Tourism Individual Tour
多くの場合、OTA
Online Travel Agent
ネットで客室を手配し、飛行機も自分で取って移動して来る。明確な目的を以て八幡平を選び来場するタイプです。例えば、ニセコへ来て居た豪州のスキー客が、八幡平の評判を聞きつけて、安比高原へ3泊4日で寄った。

或いは、日本のガイドブックで三ツ石の紅葉の写真に魅了され、ネットで周辺情報をリサーチ、松川温泉をOTAで予約、東京から新幹線で盛岡へ、路線バスで松川温泉へ来訪。ネット上で基本情報や季節情報を的確に発信する事が重要です。

◆重要なお知らせ
①DMOの取組み状況
私共の取組みは、新聞でご案内して来た概要に加え、データ分析の結果等の資料を元に説明等を行いました。委員の方からは、調査分析の母数が少ない事からの精度についてご指摘を頂きました。何分にも、過去データが不足しており、概略しか観れていませんが、小野寺先生からも、継続して精度を上げる事が重要とお話があり、有効なデータをとれる様に進めて行きます。



◆重要なお知らせ
②DMOの取組み状況
私共の取組みは、新聞でご案内して来た概要に加え、データ分析の結果等の資料を元に説明等を行いました。委員の方からは、調査分析の母数が少ない事からの精度についてご指摘を頂きました。何分にも、過去データが不足しており、概略しか観れていませんが、小野寺先生からも、継続して精度を上げる事が重要とお話があり、有効なデータをとれる様に進めて行きます。

◆誘客・手配・受入れ
*誘客活動は...
その1の場合は、エージェントへのセールス
その2の場合は、ガイドブックやSNSでの情報発信となります。
*手配に関しては...
その1ではエージェンが手数料を貰って、その2ではゲスト自身が調べて予約もします。
*受入れについては...
その1では通訳が介してくれませんが、その2では宿や施設が対応する事になります。その1は、対象が大きなお宿で、基本的には日本のツアーと同じで既に始動しています。その2は、飲食店・民宿・ペンションさんも対象となり、誘客・手配・受入れのこの迄DMOもお手伝いしながら進めています。

◆6月の魅力を活かす
観光新聞の創刊18月号でも触れましたが、6月は八幡平頂上エリアがベストシーズンながら、マママダお客様が少ない状況です。この6月の魅力を活かす形で新たな旅行形態を産み出せないか？そこで浮上したのが台湾からの教育旅行の誘致作戦です。

◆台湾の教育旅行
日本の教育旅行は、行事内容によって時期や方面・日数・予算まで横並び感があふりますが、台湾ではちよっと事情が違う様です。まずは、積極的の海外に出ないか？という方針があり、条件はありますが国からの補助が出る事。次に、面白いのが募集型、アメリカ・ハワイの候補地が提示され、生徒と家族はそのプログラムを確認して何処に行くかを決める時期。そして実施する時は、そのプログラムを優先するという面白い設定。それならばという事で話は本題に入ります。

◆このPJのねらい
このプロジェクトの目的は、もちろん台湾での教育旅行を誘致、開散期の稼働を創造し、良き思い出をつくらせて、将来リピーターしていただく事になります。しかし併せて重要なのは、環境が異なる若者20〜30名に対象を絞り、八幡平の気候・自然・文化・食事などの特性を再度整理し、来訪者に対し自信を持って提供できるプログラムを再構成して、みる事と思えます。そのコーディネートに、夏の間ほぼ毎日ビクターをアイドされている「自然散策ガイドの会」の皆さんの経験とお知恵をお借りし、お声をかけさせてもらいました。

◆台湾の教育旅行
日本の教育旅行は、行事内容によって時期や方面・日数・予算まで横並び感があふりますが、台湾ではちよっと事情が違う様です。まずは、積極的の海外に出ないか？という方針があり、条件はありますが国からの補助が出る事。次に、面白いのが募集型、アメリカ・ハワイの候補地が提示され、生徒と家族はそのプログラムを確認して何処に行くかを決める時期。そして実施する時は、そのプログラムを優先するという面白い設定。それならばという事で話は本題に入ります。

	2019年度				令和2年度(2020年度)				令和3年度(2021年度)				令和4年度(2022年度)														
	第4四半期		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観光振興計画	* 成果検証(総合戦略との調整)																										
観光振興審議会	* 委員構成...東北DC&DMOの進捗確認																										
東北	* 観光素材集へ登録																										
岩手	* 情報発信・売込み活動へ注力																										
八幡平	* 素材集へ登録																										

“観光地域づくり” V

2020年度～スケジュール確認

①観光振興計画の纏め
②次期振興計画に向けて
③東北デスティネーションC

■次期振興計画は
12月18日の観光振興審議会の指摘を踏まえ、重点課題と継続課題を整理、中期計画として取り組む事業を精査し、担当と役割を見える化出来る様に2020年から構想に着手します。

■東北DCの位置づけ
2021年に開催される東北DCは、現行の振興計画(5ヶ年)の最終年度にもあたり、掲げた8つのアクションプランの夏季の課題に対する総括的な位置づけとなります。

■八幡平DCを同時展開
今回は東北6県での取組みの為、全体の中で露出は一部に限られてきます。そこで、八幡平独自のキャンペーンを展開し、本編にリンクを張り誘導する手法を探ります。また、振興計画の総括として取り組む為、3ヶ年計画とし、2020年より着手、その過程の中で、次期振興計画で取り組む重点課題を抽出、プロジェクトを起動しながら計画を具体化します。

■現在の仮説は...
先般、観光協会・商工会さんと事前調整をし、年明け早々に実行委員会を開催、具体的な作業に入ります。現在の仮説としては、6ヶ月に及ぶ長期戦なので、前・後半で2つの山を設ける方向です。
前半は...
5月末～7月上旬
ドラゴンアイ・新緑・高山植物がメイン
後半は...
8月中旬～9月末
お盆を過ぎたら秋の風情、本州一早い三ツ石の紅葉がメイン

■答えは現場にある
〈現役時代の癖でした〉
① 策道の整備などのハードの課題、
② アクセスや案内表示の利便性の課題、
③ 自然と旅行者を繋ぐガイドの言語の課題
今回のキャンペーンのニーズは「これ迄には無かった」問題解決的な商品です！
* 営業の現場に居る方
* 料飲サービスの現場
* ドライバー&ガイド
の皆さんは、ゲストの声を聴いて、ゲストの〇〇で喜んでもらえるのには、たくさんご存知です。

今回のコンテンツ造成は定番の手法に加え、ゲストと現場の問題解決に焦点を当て、様々なトライを試みたいと考えています。どうぞお声を聴かせて下さい

■観光協会より
DCに向けて...
最近、外国人向けのコンテンツ造成を見ていくと、かつて取り組んだスローステイ事業を思い出します。
平成18年～20年度迄3年かけた健康・癒し型滞在観光推進事業で八幡平エリアはJRさんと組んでSlow Stayを商品化しました。
当時は「癒し系」が盛んに商品化された時代で、自然保養・森林浴・自然散策・スローステイ・健康食の切り口で八幡平の素材を整理し、長期滞在をして、四季折々の自然に抱かれながら、様々なヒーリングメニューを楽しむ：提案で、3泊4日のモントゥアアで紹介されました。

この取組みで特に有効だったのは、
① 健康・癒しと言いつつ、資源を皆で再確認する作業をした事、
② 合併直後と言いつつもあり、各エリア相互に体験会を行い、滞在するゲストへの確かな情報提供が出来た様になった事で
* 若手山にも登り、八幡平検定?の様ナスト流行しました。

平成19年には、行われたモントゥアアのアンケートを踏まえプログラムを整備され、今度も完成。
このモニターを踏まえ施設の改修をされたお宿さんもあり、またこれを機にリピートもあると聞いています。

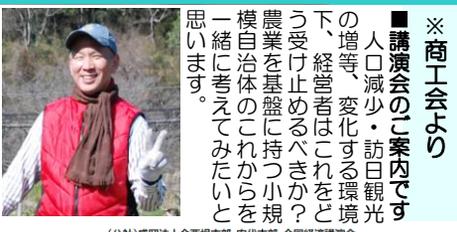
■外国人の受入れ対応
個人旅行で訪日するゲストの多くは泊食分離(夕食はフリー)が一般的、二ツコ・野沢温泉などのインバウンド先進地の夜は賑わうが、勿論、裏側ではいろいろ課題があります。今、この受入れ準備に関するお話しで、これ迄お話しして来たケースは、
① 外国人対応メニュー
② 営業資料の多言語版
③ ホームページ・パンフレット・営業ツール
④ 三次交通の整備発信
シャトルの路線バス化
温泉郷方面と併せて告知も整備しました。

また、モニターやTUIの洋式化等の県の助成もご紹介しています。今年度は1/31迄になってしまったので、急ぎお問合せ下さい。



■大更でも新しい動き
「ビジネスホテル西根」に支配人として来られた菊池さんは、以前居られた仙台のバーホッピング(外国人向けは「ご酒ツアー」を参考に大更ナイトホッピングをスタートさせます。初年度は安比からのナイトシャトルに合わせた食文化体験ツアーで英語のガイドを付けて大更の歴史や文化を紹介しながら飲食店を23件はしこをするという企画です。
12月25日に行われたモニターには、在日の米国人に大更の大先輩も合流し、将来へ向け可能性が広がるお話も伺えたようです。ここでも新たな挑戦が始まりました。

■商工会より
* 講演会のご案内です
人口減少・訪日観光の増等、変化をどう受け止めるべきか? 農業を基盤に持つ小規模自治体のこれからを一緒に考えてみたいと思います。



「人口減少社会、訪日観光等、そしてこれからの経営について」
令和2年1月23日(木) 17:00～19:00
日時 八幡平ハイランド0195-78-2121
場所 マルシェ(株)取締役会長 谷組 雅之 氏
講師 フアンチーター 立正大学経済学部 特任教授 鈴木 輝博 氏
入場料 無料 (懇話会交流会のみ 費6,000円)
対象者 法人会会員の経営者、後継者、一般市民等
締切り 令和2年1月20日(月)まで
スケジュール
第一部 講演会 17:00～19:00
第二部 懇話会交流会 19:10～20:30 (終了 20:30)
主催:公益社団法人盛岡市西根支会・公益社団法人盛岡市西根支会
共催:八幡平市商工会
講演会・懇話会交流会申込書・FAX 0195-76-2145

外国人観光客等受入れ環境整備事業
観光・宿泊・交通・飲食店事業者及び外国人受入れの計画がある者

